入会のご案内

正 会 員

本会の区域に土地あるいは建物を所有し、本会の趣旨に賛同する事業者、個人

賛 助 会 員

・本会の区域の建物で営業する事業者（テナント）
・本会の趣旨に賛同し協力する区域周辺の事業者、団体など

特 典

ミナミ御堂筋の会に入会いただくと、下記のような特典を得られます！（年会費60,000円）

最新情報を入手できます

月1回の定例会で行政施策や周辺不動産情報など最新情報を入手できます

【実績】大阪市建設局による御堂筋道路空間再編事業の情報提供、不動産サービス会社によるミナミの不動産市況の情報提供、海外都市の情報提供

行政への提言、連携を行います

地権者団体としての強みをいかし、ミナミ御堂筋の望ましい方向性や、取り組むべき施策を行政に対し提言し、具体化において連携を図ります

【実績】モデル整備区間での協議、御堂筋イルミネーションでの提案など

エリア価値向上に資する事業を実施します

御堂筋の沿道価値を高める取り組みを、地域と連携して実施します

【実績】社会実験「御堂筋チャレンジ」実施、隈研吾氏講演会開催など

■対象エリア

御堂筋の長堀通から
なんば駅までの沿道

会の主な活動

毎月最終週の月曜日に定例会を開催の他、下記の活動を実施しています。

建築家・隈研吾氏をお招きした講演会

モデル区間整備協議への参画、取り組み支援

モデル区間の社会実験「御堂筋チャレンジ」

沿道のプロモーションイベント等への協賛

御堂筋イルミネーションの参加・協力
（当会会員ビルのライトアップ）

ミナミー斉大そうじへの参加

会員企業
【2018年10月現在】

正会員（18社）：株式会社大丸松坂屋百貨店、都島自動車株式会社、三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社、七宝山大福院三津寺、株式会社オクウチサービス、株式会社泉屋商店、株式会社スポーツタカハシ、株式会社播重、有限会社泉屋、平川商事株式会社、東亜商事株式会社、三信株式会社、株式会社三栄建設、光明興業株式会社、株式会社池田ビジネス、株式会社ベルコ、有限会社ナカムラ、個人
賛助会員（4社）：株式会社アイ・プランニング、イチエイ商事株式会社、東京建物不動産販売株式会社、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

【お問い合わせ先】　ミナミ御堂筋の会事務局
株式会社 地域計画建築研究所（アルパック）大阪事務所 内
〒541-0042　大阪市中央区今橋3-1-7 日本生命今橋ビル10F
Tel：06-6205-3600　Fax：06-6205-3601　E-mail：minami-midosuji@arpak.co.jp

ミナミ御堂筋の会　検索
Facebookもチェック

御堂筋の会
Midosuji no kai
私たちは、ミナミ御堂筋の沿道企業体です。

ミナミ御堂筋の会

大きな変化にある、ミナミ御堂筋。

大阪のメインストリート、御堂筋。このミナミエリアは、インバウンドの影響も追い風としながら、大きくその姿を変えようとしています。

関西国際空港から直結するアジアのゲートウェイ、なんば駅周辺は、国際的な観光地としての地位を確立。インバウンド効果で外国人観光客が激増し、2030年の府下の外国人観光客は2,000万人(2017年1,111万人)にも達すると予測されています。

付近の不動産需要は高まりを見せ、地価も大きく上昇、2018年にはキタを逆転しました。数年で大型開発が計画あるいは進行中であり、そのエリアはなんばから新今宮などへと拡大しつつあります。さらに、なにわ筋線開業(2031年春目標)によってエリアのポテンシャルは一層向上すると期待されています。

御堂筋の完成80周年を迎え、官民連携による都市空間再編、御堂筋の歩行者空間化に加え、なんば駅前広場の整備が、リーディングプロジェクトとして強力に推進されています。

※開発の写真は各社発表時の資料より
※なんば駅前広場の整備は基本計画より

【御堂筋の過去・現在、そして未来】

関一の都市大改造計画

・「道こそ街の動脈」、御堂筋は都市格を体現し、沿道には優れた建築物が建設、美しい景観を創造し、大阪のレガシーに

写真：完成当時の御堂筋
大阪市ホームページより▶

高度経済の変容を経て転換期に

・都心部の土地利用も道路空間も経済活動で占められ御堂筋もアメニティを失う
・中之島の景観保存、水都大阪の再生、御堂筋の道路空間再編と沿道の土地利用転換が進み、力強い民の動きが勃興

【世界の潮流】

世界の各都市で歩行者空間化の空間再編が具体化

・ニューヨーク市“Sustainable Streets Strategic Plan”を策定、タイムズスクエアを歩行者空間化社会実験実施、恒久化へ

歩行者のための空間形成がグローバル都市の戦略

・「パリは歩行者に対する包括的な戦略、ウォーキング国際国連憲章に署名する。」
～～パリ市の歩行者グローバル戦略より

【ミナミ御堂筋での議論】

メインストリートが都市戦略上の核

・「メインストリートをいかに都市の中核に据えていくかが非常に重要な課題。」
・「普通は一見無理だと思えるようなことを実現するのが海外のメインストリート、御堂筋もそこを譲ってはならない。」
～～嘉名光市氏講演「大阪のまちづくりをリードするミナミ御堂筋の展望」より

真に人間のためのメインストリートが、世界の中で生き残る

・「人間が自分でまちをつくっているという意識を持つまちが競争力があって、人がたくさん集まり、世界の中で生き残る。」
～～隈研吾氏講演「世界のメインストリートと建築」より

ミナミ御堂筋を取り巻くこれからの大きな変化

・御堂筋整備拡大（北伸化）
・精華小学校跡開発、大丸心斎橋店本館・ロイヤルクラシック大阪・南海会館ビル建て替え
・なんば駅前広場化
・東京オリンピック・パラリンピック開催
・なにわ筋線整備

80周年記念事業を取り巻く動き

・御堂筋のデザイン指針、将来ビジョンの検討
・官民連携ほか、ワークショップの開催によるあり方議論
・モデル整備区間における社会実験の実施

ミナミ御堂筋の会の着実な取り組み実績

・地権者による定例会、あり方の議論や情報発信、勉強会
・モデル区間整備のコーディネート
・顧問嘉名光市氏、建築家隈研吾氏の講演会実施
・御堂筋イルミ他プロモーションへの参画、協賛実施

今こそ、将来のミナミ御堂筋のすがたを、発信し、行動する時。

ミナミ御堂筋の会とは

平成26年度に御堂筋イルミネーションの南進化が検討されている中、「ミナミの御堂筋沿道では沿道のまちづくりの情報を地権者に届ける場もなく、せっかく各種事業が実施されていても自分たちの知らないところで事業が進んでしまいかねない」状況に危機感を持ち、沿道の地権者が集まり情報を得て、意見等を表明していく組織が必要であるとの認識に至り、平成27年7月28日、13社の正会員、1社の賛助会員の参加を得て設立しました。

会の目的（ミッション・ステートメント）

国内のみならず海外からも注目される“世界の御堂筋”をめざし、
まちの資産価値向上を図るべく、不動産オーナーが連携して、
下記の3つの観点からまちのあり方を提案し、実現に向けて働きかける

ミナミ御堂筋の3つの “E”

E NVIRONMENT
高質な
メインストリートの
空間・環境づくり

E CONOMY
経済・投資活動で
まちが潤う
しかけづくり

E MPOWERMENT
まちの発展を導く
マネジメント体制・
しかけづくり

ミナミ御堂筋の会のビジョン

大阪のメインストリート、御堂筋。世界に誇るメインストリートと肩を並べるためには、いかにあるべきか。その実現に向けて、どんな行動をすべきか。

ミナミ御堂筋沿道の不動産を所有するオーナーによる団体、「ミナミ御堂筋の会」は、2015年7月の設立以後、御堂筋のあり方の議論を重ねてきましたが、このたび、その成果をもとに方向性を共有するべく、「ミナミ御堂筋ビジョン2018」として、2018年5月に、取りまとめました。

※ビジョン本文はアルパックのホームページからご覧頂けます。 http://www.arpak.co.jp/